



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2 5 1 0 地区第 1 グループ

深川ロータリークラブ



例会プログラム

国際奉仕委員会アンケート集計結果

12月6日 国際奉仕委員会担当例会

SDDGs の上から、クラブの長期プログラムにヒントがあればお書きください。

1. ポリオ撲滅や財団・米山等他クラブとの連携できるプログラムについて。

解答

- 連携できるプログラムの詳細を地区に問合せして、クラブとして無理のない様に（連携できるように）進めるべきと思います。
- 理解できません（プログラム）の意味がわからず。
- 特にありません
- 思いつきません ごめんなさい。
- 財団・米山の資金を利用する対応にして、別資金の集金策は反対です。
- 今は寄付をする事しか考えつきません
- 特に思いつきません
- ポリオ撲滅の取り組みは今風で言えばまさしく！？ SDGs、先がけの取り組みとしても今後も継続していく取り組みとしても好事例と言える取り組みだと思います。
- 金融リテラシー→小中学生から金融について学ぶ機会を与える。
- 狂犬病ワクチンへの寄付
- 米山学友を招き、卓話をお願いできたら。



ロータリー財団
世界でよいことをしよう



日本のロータリーは
海外からの留学生を支援しています



国際奉仕委員会アンケート集計結果

2. 南海ロータリークラブとの50年近くにわたる海外交流について

解答

- 背の丈に合った交流が望ましい。簡単に止めるべきではない。
リモートで例会に参加するとか方法を考えるとか協議してみは？
- 国際交流として大切にしてほしいものです。
- 継続していくべき。
- オンライン交流
- 数が違うと接待の比率が違うので、それなりに対応できない。極端な話、1：30では対応できない。
- コロナ禍の中では、収まるまで交流はできませんが、これからも交流することは大事だと思います。
- 交流は続けていくべきと捉え、現状行き来出来ないのであれば「ZOOM」などを使って、意見交換ができる場ができればと考えます。
- 私個人の意見としては楽しい事業だし、続けられたらいいと思います。費用面、会員数のバランス、コロナの影響などやめる理由は探せばいくらでもあると感じています。
そもそもロータリーは親睦交流を活動の趣旨としているので。
- 歴史の中で重要な役割をしてきたので継続可能な方法を検討したい。
- 交流会を2年に変更する。
- コロナが終息するまでしばらく交流は中断すべきかと思います。
- 国際交流という形で続けていけるのでは（費用面はあると思いますが）
- 可能であればケイゾクしたいですが、会員数の差等を鑑みれば・・・
規模の縮小、開催を2年に一度等考慮してみは？
- コロナという事もありなかなか直接交流とはいきませんが、お互いに対等な立場のなか、今後も続けることが必要ではないかと思います。国の問題や会員数の違い関係なく、友情を深めることは大事かと。

様々なご意見をありがとうございました。今後の委員会の参考にさせていただきます。
国際奉仕委員長 轡田光章



深川
RC

会長 佐藤 幸治
幹事 佐々木 弘有

会長エレクト 圓浄 貴之
副幹事 寺島 康宏

副会長 飛騨野 貴広
会計 廣上 晃士



例会運営委員会

委員長 大西 祥太
副委員長 伊東由紀夫

深川
RC

■例会場 ラ・カンパニョホテル深川 ■例会日 毎週火曜日
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号 ■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
プラザ深川3F Tel (0164)34-6228 ■第2510地区第1グループ
■URL H <http://mypage.fukanavi.com/rotary/> ■Mail fukagawa-RC@club502.jp